

仲秋の候

皆さまにはますますご健勝の御事とお慶び申し上げます
令和元年から三年ぶりに「福井青嶂会」を開催させていただき運びと相成りました
片山九郎右衛門先生

諸先生、諸先輩にご出演を賜り
お雛子の先生方にもお助けいただき

福井青嶂会会員一同 また各地の青嶂会会員も応援に駆けつけ
日ごろの稽古の成果を発揮すべく懸命に勤めさせていただきます

第三回目となる今回、能は両シテにて勤める「通小町 雨夜之伝」、
巫女神楽が見どころの「巻絹」の二番を上演いたします
舞囃子では、元服以前または還暦以後で特別な者に許される「驚」をはじめ
「雲林院」「融」また初舞台の「右近」を福井の会員にて
素謡では老女物「卒都婆小町」披曲や至難の「景清」を披演
素謡「吉野天人」と仕舞「羽衣」も初舞台にて勤めさせていただきます

どうかご高覧賜りますよう

お願い申し上げます

味方 玄

八瀬の山里で修行する僧のもとに、毎日、木の実や薪を届ける女がいた。
不思議に思った僧が名を尋ねると、自分是小野小町の化身だとほめか
し回向を頼んで姿を消す。僧の弔いにより小町の亡霊が現れると、続い
て小町への愛を断ち切れない深草の少将の亡霊も現れ、小町の受戒を妨
げる。少将は小町から、百夜こへ通つてくれれば愛を受け入れる
と言われ、通い詰めた末の九十九日目に狂死したのだ。僧の勤
めにより、二人は百夜通いの様子を再現し、仏縁を得て成仏する。



撮影：金の星 渡辺写真場

通小町 (かよいこまち)

本日の演目より

帝の勅命により熊野本宮へ絹を運んでいた都の男は、途中、音無天神を
参詣し、梅の香りに惹かれて和歌を手向けていたため期日に間に合わず、
懲罰として縛り上げられる。そこへ神憑りとなった巫女が現れ、男の縄
を解けという音無天神の神託を告げる。勅使は神託を疑うが、巫女が男
に奉納した歌の上句を言わせ、下句を自らが言い当てて、男は赦免され
る。巫女は和歌の徳を語り、熊野権現を称讃する「神楽」を舞うと再び
神憑りとなるが、やがて正気に立ち戻る。



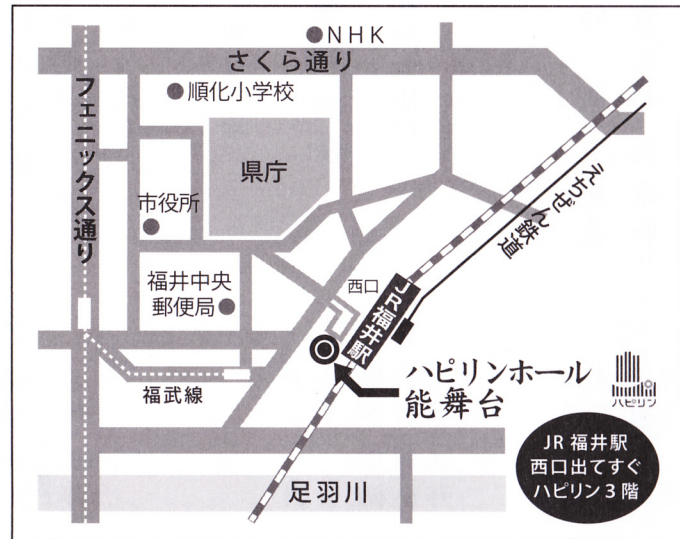
撮影：ウシマド写真工房

巻絹 (まきぎぬ)

後援 福井県観世能楽会
福井県能楽協会
福井新聞社

主催 青嶂会 味方 玄 (みかた しずか)
【TEL & FAX】 075-213-1774
【公式サイト】 <https://theatrenoh.com/>
【福井青嶂会問合せ】 0776-53-5315 (井上)

- ◎ 主催者の許可なき撮影・録音・録画は一切ご遠慮ください。
- ◎ 会場内では携帯電話・スマートフォンなどの電源をお切りいただくか呼出音・バイブレーションともに鳴動しない設定をお願いします。
- ◎ 各演目の上演予定時間はあくまでも目安です。あらかじめ余裕をもってお越しください。
- ◎ 素謡は詞章を一部省略する場合がございます。



令和四年十月二十九日(土) 午前十時三十分始(開場十時)
【入場無料・御来場歓迎】

「観世流」

第三回 福井青嶂会

於ハピリンホール能舞台

福井市中央一丁目二一
JR 福井駅西口ハピリン・三階
【電話】〇七七六(二〇)二九〇一